

世 界 史

(問 題)

2012年度

〈2012 H24063423〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は全て解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験開始後、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄には氏名のみを記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. マーク欄は、はっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないよう、よく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時		良い		悪い		悪い
マークを消す時		良い		悪い		悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔I〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

アフリカ大陸の北東に位置するエジプトでは、農業が盛んでナイル川流域には、多くの村落が形成されていった。やがて、紀元前 **A** 年ころになると、ひとりの王のもとで統一国家が誕生した。その後、異民族の侵入や外国の支配を受けた時期もあったが、王を頂点とする王国の形態が維持されていく。この間、約30の王朝が交替していく。その中で特に繁栄した時代を古王国・中王国・新王国の3期に区分している。エジプトは紀元前30年にプトレマイオス朝が滅亡することで、ローマの支配下に入ることとなる。

前14世紀の新王国第 **B** 王朝時代の王である **C** は、従来の神がみの崇拝を禁止して、唯一の神である **D** 神だけを信仰する宗教改革を断行した。この改革は、王の死により短期間で終わるが、宗教や美術の分野では、非常に特徴的な時代であった。
E

設問1 **A** に入る数字は何か。次のア～エにあげる数字の中で該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 5000 イ 4000 ウ 3000 エ 2000

設問2 **B** に入る数字は何か。解答は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 **C** に入る王は誰か。解答は、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 **D** に入る神の名前は何か。次のア～エにあげる神の中で該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ラー イ アモン (アメン) ウ ホルス エ アトン (アテン)

設問5 下線部Eの時代とその後の時代に関する事項を記した次のア～エの文の中で誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア この時代の美術様式は、従来の固定化された様式ではなく、自由で写実的なものであった。

イ **C** 王が新たに建設した都は、メンフィスとテーベのちょうど真ん中に位置していた。

ウ **C** 王は、西アジア諸国に盛んに軍事遠征を実施した。その結果、新都からは楔形文字を刻んだ粘土板が多数発見されている。

エ **C** 王の死後、ツタンカーメン王の時代になって、唯一神である **D** は廃され、信仰は多神教に復帰した。

〔Ⅱ〕 次の i ～ iii の文章を読み、設問 1 ～ 4 に答えなさい。

- i ローマ帝国の五賢帝の一人であるトラヤヌスは、ドナウ川下流の北岸地域に進出して属州 **A** **B** を設けるなどし、ローマの最大版図を実現した。
- ii ザクセン朝のオットー 1 世が教皇から帝冠をさずけられたことに起源をもつ神聖ローマ帝国では、当初、教会組織を帝権の下において支配に利用するという **C** 政策がとられた。
- iii 中世のイギリスではノルマン朝以来王権が強かったが、議会制の形成も早く、1295年には、**D** のもとでいわゆる模範議会が招集された。

設問 1 下線部 A に関係する下記の文のうちで誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ネルヴァからマルクス＝アウレリウス＝アントニヌスにいたる、5 人の皇帝を五賢帝という。
- イ トラヤヌスは五賢帝の二番目であり、属州出身の最初の皇帝であった。
- ウ ハドリアヌスは、内政整備と辺境防衛に努め、ブリタニアに長城を築いた。
- エ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌスは、エピクロス派の哲学を学び、『自省録』を著した。

設問 2 空欄 B にあてはまる属州名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 空欄 C にあてはまる最も適当な言葉を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 空欄 D にあてはまる王を下記から選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ヘンリ 2 世 イ ジョン ウ ヘンリ 3 世 エ エドワード 1 世

〔Ⅲ〕 下記の問題文を読んで、設問1～4に答えなさい。

アケメネス朝ペルシアが西アジア全域を掌握し、さらに中央アジア方面に支配を拡大することで、イランと中央アジアは関係を深めた。7世紀、イスラーム勢力は、^Aイランにあった王朝^Bを倒し、この王朝の支配地を覆うように中央アジアまで進出した。そのことで中央アジアのイスラーム化が進むと同時に、そこに住む諸民族を西アジアに導くことになった。そのひとつ、11世紀に成立した C 朝の最大版図は中央アジアからアナトリアまで広がった。この王朝のあと、イラン・中央アジアと地中海東岸全域を同時に支配する権力・国家は出現していない。イスラーム世界の内で政治的・文化的な地域差が拡大したのである。16世紀になると、「地中海帝国」であるオスマン帝国に並立して、イランとインド^Dには、同じイラン・中央アジア的伝統に依拠しながらも、その地に根差した国家が成立した。そうしたなか、19世紀、ロシアが中央アジア諸王国を併呑し支配領域を拡大したことで、イランは中央アジアとのつながりを断たれた。

設問1 下線部Aに関連して、次のア～エから正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ムハンマドがメディナに移住した年が、イスラーム暦元年である。
- イ ムハンマドは、預言者であると同時に神と同格とされた。
- ウ ムハンマドが伝道のために語った説教集が『コーラン』である。
- エ ムハンマドの死をうけ、世襲的なカリフ制が採られた。

設問2 下線部Bに関わる事項として、次のア～エから正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 王都はスサ イ 初代はホスロー1世 ウ 中国名は安息 エ マニ教が成立

設問3 C に入る適切な王朝の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dに関連して、この地に16世紀に成立した統一国家の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅳ〕 中国史に関する以下の文章 A～D を読んで、設問 1～7 に答えなさい。

A 中国史上、最初の統一帝国を樹立した秦の始皇帝は、一連の統一政策を実施した。中央官制として、丞相・太尉・御史大夫を置いて権力を分立させ、地方支配においても郡に守・尉・監を置き、県に令・尉を置いた。

設問 1 秦の始皇帝の統一政策として、正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 封建制を廃し、郡国制を全国的に施行した。
- イ 貨幣を半両銭に統一した。
- ウ 大月氏と匈奴を挟撃するため、張騫を派遣した。
- エ 南越国を征服して南海など三郡を置いた。

設問 2 秦の国家体制の多くは、以後の諸王朝にも受けつがれたが、それらの王朝の政治制度を述べた文の中で、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 唐の三省六部制では、中書省で作成された詔勅の草案が門下省で審議され、尚書省にまわされた後に六部によって施行された。
- イ 契丹の遼では、部族制で統治する北面官、州県制で統治する南面官の区別を設ける二重統治体制をとった。
- ウ 明の洪武帝は、中書省を廃止し、その属下にある六部を皇帝に直属させて、皇帝独裁体制を強化した。
- エ 清の乾隆帝が軍機処を設けると、明以来の内閣大学士に替わって軍機大臣が事実上の宰相となった。

B 黄巾の乱によって事実上後漢は滅び、各地に群雄が割拠した。その中から、あ が後漢の皇帝から譲られて華北に魏を建国すると、江南の孫権と四川の劉備もそれぞれ呉・蜀を建国した。三国時代の到来である。そのご魏が蜀を滅ぼし、魏も司馬氏に国を奪われ、晋の再統一となった。

設問 3 あ に入る適切な人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 三国時代から魏晉南北朝時代に実施された制度について述べた記述の中で、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 蜀（蜀漢）では地方長官の推薦による郷挙里選を創始した。
- イ 魏の屯田制は、戦乱で生じた無主の荒田を国有化し、それを流民や農民を募って耕作させ、徴税したものである。
- ウ 西晋の占田・課田法は、北魏の均田制につながる土地制度である。
- エ 魏晉南北朝時代を通じて九品中正が行われ、門閥貴族の形成をもたらした。

C 秦漢帝国の成立と崩壊は周辺地域の諸民族に大きな影響を与え、各地でさまざまな動きがみられた。中国東北地方南部に起こった高句麗は、4世紀初めに楽浪郡を滅ぼし、朝鮮半島北部を支配した。半島南部の東に新羅、西に百済が形成され、南端に加羅諸国が成立した。日本では3世紀半ば邪馬台国の卑弥呼が魏に使節を送り い の称号を与えられた。

設問 5 い に入る適切な語句を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問6 朝鮮半島に楽浪郡を置いた前漢武帝の対外政策を述べた文で、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 南越を征服して、ベトナム北部まで領土を拡大し、南越の故地に九郡を置いた。
- イ 衛氏朝鮮を滅ぼし、朝鮮半島北部に楽浪・真番・臨屯・玄菟の四郡を置いた。
- ウ 大宛（フェルガナ）を伐って、匈奴の支配下にあった西域諸国を服属させた。
- エ 武帝に敗れた北匈奴の子孫は西方に逃れ、4世紀に南ロシア草原に出現した。

D 西晋では帝位をめぐる内乱が起こり、それに動員された五胡が伸張して、匈奴は洛陽^aを陥れて西晋を滅ぼした。司馬睿は建康^cでこれを再建した。華北では五胡の政権が興亡し、鮮卑の北魏によって統一され、江南では短命な諸王朝^bが興亡して、中国は南北に対立した。北魏は東西に分裂し、さらに東魏は北齊、西魏は北周に倒され、北齊^dから出た隋の文帝によって中国は約400年ぶりに南北統一された。

設問7 下線a～dには誤りがある。その誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア a イ b ウ c エ d

〔V〕 19世紀以降、植民地化の脅威にさらされたアジアなどの諸国では、伝統的な君主の権力がある程度保持したままで近代的体制に移行しようとする「上からの改革」が見られた。これらの改革は、諸外国の圧力や、より徹底的な変革を求める国内の動きのために、十分な成果をあげずに終わった例も多いが、それでも各国の近代化に一定の役割を果たしたといえる。4つの国でのこうした動きに関する以下の文章①～④を読んで、設問1～6に答えなさい。

- ① 19世紀半ばにヨーロッパ諸国と不平等条約を結んだ後、歴代の君主が改革を主導し、経済開発、近代教育の導入、地方行政の整備などの面で一定の成果をあげた。しかし、^A20世紀に入ると、世界恐慌の影響で財政が破綻し、^W政変が起きて憲法が制定された。この国は現在も立憲君主制をとっている。
- ② ^B1894年に起こった農民反乱後に政権を握った開化派によって、身分差別の撤廃、行政と司法の分離などが進められたが、諸外国の干渉もあって政情は安定しなかった。植民地化の危機が高まる中で、独立維持のために君主権を^X強化する体制がとられたが、実効はあがらず、まもなく他国により保護国化され、ついで併合された。
- ③ 1839年に全臣民の平等、生命・財産の保証などをうたった勅令が發布され、さらに一連の改革が進められた後、^C1876年に憲法が制定され、議会が開設された。しかし、まもなく君主は憲法を停止し、専政を続けたため、20世紀^Yに入ると革命が起きて憲政が復活した。
- ④ ^D1894～95年の戦争に敗れたことを契機に、君主と一部少壮官僚が政治改革に着手したが、保守派の巻き返しによってすぐに挫折した。20世紀に入ると、ふたたび立憲君主制をめざす一連の改革が実施されたが、十分な成果をあげないままに、^Z革命が起きて君主は退位し、共和政に移行した。

設問1 ①～④の記述に対応する国名の組み合わせとして、適切なものを次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| ア ①ベトナム | ②イラン | ③タイ | ④朝鮮（韓国） |
| イ ①タイ | ②朝鮮（韓国） | ③オスマン帝国 | ④中国 |
| ウ ①朝鮮（韓国） | ②オスマン帝国 | ③イラン | ④中国 |
| エ ①タイ | ②オスマン帝国 | ③中国 | ④ベトナム |

設問2 下線部Aの中で、最も強力に改革を推進し、奴隷制の廃止などを実現した君主の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Bに影響を与えた、排外傾向をもつ宗教の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Cを起草した宰相の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Dの相手国を次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア フランス イ ロシア ウ 日本 エ アメリカ

設問6 下線部W～Zのできごとを年代順に並べたものとして、正しい組み合わせを次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア Z-X-Y-W イ Y-X-W-Z ウ W-X-Z-Y エ X-Y-Z-W

〔VI〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 6 に答えなさい。

植民地帝国イギリスの北アメリカ植民地に対する統治は、「有益な怠慢」と称されるように比較的ゆるやかで、植民地は大幅な自由を享受し、18世紀には急速な経済的發展を遂げた。しかしながら、フレンチ＝インディアン戦争後、イギリス本国の北アメリカ植民地に対する規制が強化され、植民地統治の費用を新たな課税という形で捻出しようとしたことから、これに反発する植民地との間で軋轢が強まった。とりわけ1765年の **C** は激しい反対を引き起こし、植民地側は本国議会への植民地代表派遣の問題と課税権をからめた主張でこれに対抗した。

独立後のアメリカ人は、イギリス本国による統治の苦い記憶から、**E** 連合規約の下での中央政府に厳しく制限された権限しか与えなかったため、無力な中央政府は建国期の諸問題に適切に対処できなかった。そのため、より強力な中央政府の創設を目的に、1787年に合衆国憲法がつくられた。この憲法では人民主権と連邦主義に加えて、**F** 三権分立の原則を採用し、権力の集中を避けた。

設問 1 下線部 A に関連するア～エのうち、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア インドは、1600年に設立された東インド会社によって経営されていたが、1858年にイギリスの直轄植民地となった。

イ オランダ人が建設したニューアムステルダムは、1664年にイギリスに占領され、国王の弟に与えられてニューヨークと改名された。

ウ アン女王戦争（スペイン継承戦争）後のユトレヒト条約では、イギリスはニューファンドランドやミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。

エ 17世紀半ばにイギリスの支配下に入った西インド諸島のジャマイカでは、黒人奴隷を使用したサトウキビのプランテーションが発達した。

設問 2 下線部 B に関連して、13植民地屈指の貿易港をもつ最大の都市で、後に一時合衆国の首都となったのはどこか。その都市名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 **C** にあてはまるものをア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 砂糖法 イ 茶法 ウ タウンゼント諸法 エ 印紙法

設問 4 下線部 D に関連して、この主張を端的にあらわした言葉を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E に関連して、連合規約下の中央政府に与えられていた権限をア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 通商規制権 イ インディアン問題の処理 ウ 常備軍の保持 エ 徴税権

設問 6 下線部 F に関連して、イギリスの政治制度を評価した上で三権分立を唱え、アメリカ合衆国憲法に影響を与えた書物をア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 『法的精神』 イ 『リヴァイアサン』 ウ 『哲学書簡』 エ 『社会契約論』

〔Ⅶ〕 次の文章を読み、下記の設問 1 ～ 6 に答えなさい。

第一次世界大戦後のヨーロッパ諸国では、権力は国民に発すると考えるいわゆる民主主義が、政治の基本原則として広まった。しかし、支配のあり方は主として三つのタイプに分かれた。第一のタイプは、西欧民主主義あるいは議会制民主主義と呼ばれるタイプで、自由な選挙で選ばれる多数派が政権を担った。第二のタイプは、ポリシェヴィキ独裁的な体制で、国民の大多数を占める労働者階級を代表すると称する党が権力を独占した。そして第三のタイプは、これら二つのタイプのどちらにも対立した右翼独裁的な体制だった。

1920年代のヨーロッパでは、第二のタイプであるソ連^Aと第三のタイプであるイタリア^Bとを除けば、第一のタイプが優勢だったが、世界恐慌を経た1930年代に入ると様相が一変した。ドイツをはじめとして、中欧・東欧・南欧のほとんど^Cの国において第三のタイプの体制が支配する状態が出現した。そのような流れを阻止しようとして、フランスでは^Dを首相とする人民戦線内閣が樹立され、この内閣は内部対立のために崩壊したものの、フランスは第一のタイプにとどまった。

第二次世界大戦後のヨーロッパでは、いくつかの国で第三のタイプの支配体制が続いたとはいえ、基本的には^Eアメリカの支援を受けた第一のタイプの諸国と、ソ連圏に組み入れられた第二のタイプの諸国とが対立した。後者の諸国の中には形式的には複数政党制を認める^Fと称する体制をとる国もあったが、実質的にはポリシェヴィキ型の党の独裁体制だった。1970年代には第三のタイプの諸国も第一のタイプに移行し、やがてソ連圏の崩壊とともに第二のタイプの諸国も同様に第一のタイプに移行した。

設問 1 下線部 A が成立した後に起こった出来事の一つを選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ア レーニンの死去 | イ ネット（新経済政策）の採択 |
| ウ 戦時共産主義の実施 | エ コミンテルンの設立 |

設問 2 下線部 B のムッソリーニ政権が1920年代に行わなかったことを一つを選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | |
|-------------|------------------|
| ア ラテラン条約の締結 | イ フィウメの併合 |
| ウ エチオピアへの侵攻 | エ アルバニアの事実上の保護国化 |

設問 3 下線部 C の諸国の中で、例外的に第一のタイプの体制を維持した国の一つを選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | |
|---------|----------|-------------|---------|
| ア ハンガリー | イ オーストリア | ウ チェコスロヴァキア | エ ポーランド |
|---------|----------|-------------|---------|

設問 4 空欄 D にあてはまる人名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E と関連のないものを一つを選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | |
|---------------|---------------|
| ア ヨーロッパ自由貿易連合 | イ トルーマン＝ドクトリン |
| ウ マーシャル＝プラン | エ ヨーロッパ経済協力機構 |

設問 6 空欄 F にあてはまる語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅷ〕 以下の文章を読んで、設問1～5に答えなさい。

16世紀になると、カトリック教会の墮落を批判して、ドイツを中心に宗教改革の動きが起こった。これに対してカトリック教会は自らの改革を進めて、いわゆる対抗宗教改革を展開させる。1545年、**A**で開催され、1563年まで続いた公会議は、カトリック（旧教）とプロテスタント（新教）両派の融和を目的としたものであったが、新教側が出席を拒否したために旧教側だけの会議となった。そのために教皇の至上権とカトリックの教義を再確認する結果に終わった。

スペインでは国王**B**がレバンートの海戦でオスマン帝国に対して勝利を収め、絶対王政の基礎を築いて「太陽の沈まぬ国」を実現すると同時に、「王にして修道士」を自任して対抗宗教改革を推進していった。その後フェリペ4世の下、政治経済の面では斜陽化してゆくが、文化上の黄金時代が出現する。文学ではセルバンテスの後にローペ＝デ＝ベガやカルデロン、美術ではリベラやスルバラン、ムリーリョなどが輩出する。とくに、1625年のオランダとの戦争を題材にした《ブレダの開城》（図1）を描いた**C**は、フェリペ4世寵愛の宮廷画家として活躍した。

一方、16世紀後半に始まった独立戦争によって次第にスペインから独立をとげたオランダにおいては、海外貿易などで富を得た市民層が力をもち、教会や王侯貴族に代わって新たな芸術のパトロンとなった。レンブラントは市民たちの集団肖像画である《**D**》（図2）を制作した。**E**は《真珠の耳飾りの少女（青いターバンの少女）》（図3）など、柔らかな光の効果の下、市民の暮らしや風俗を描いた少数の作品で知られる。

設問1 **A** にあてはまる地名を次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア フィレンツェ イ ローマ ウ トリエント エ ミラノ

設問2 **B** にあてはまる人名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 **C** にあてはまる人名を次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ルーベンス イ ゴヤ ウ カラヴァッジョ エ ベラスケス

設問4 **D** にあてはまる作品名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 **E** にあてはまる人名を次のア～エから選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア エル＝グレコ イ フェルメール ウ ファン＝ダイク エ ワトー



図1 《ブレダの開城》
1634-35年，マドリード，
プラド美術館



図2 レンブラント
1642年，アムステルダム，
国立美術館



図3 《真珠の耳飾りの少女(青いターバンの少女)》
1665年頃，ハーグ，
マウリッツハイス美術館

〔以下 余白〕

